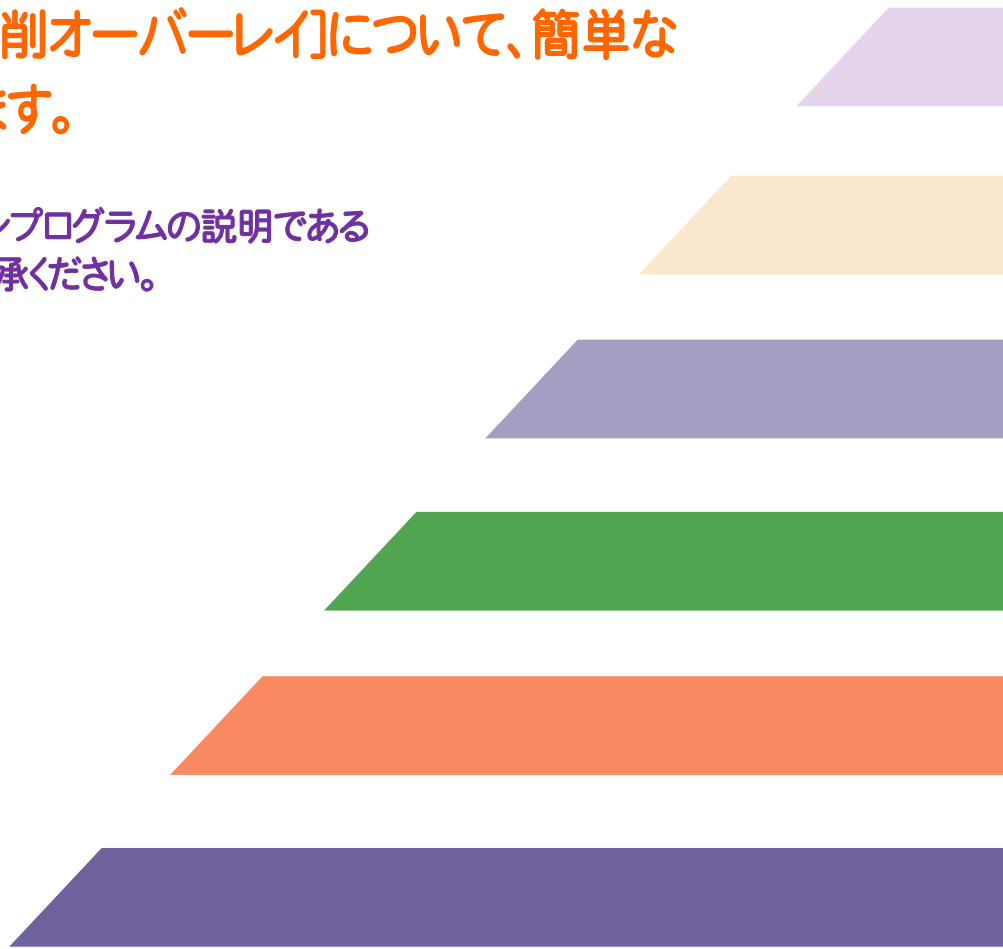


切削オーバーレイ

[測量計算]の[切削オーバーレイ]について、簡単な操作例で解説します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。



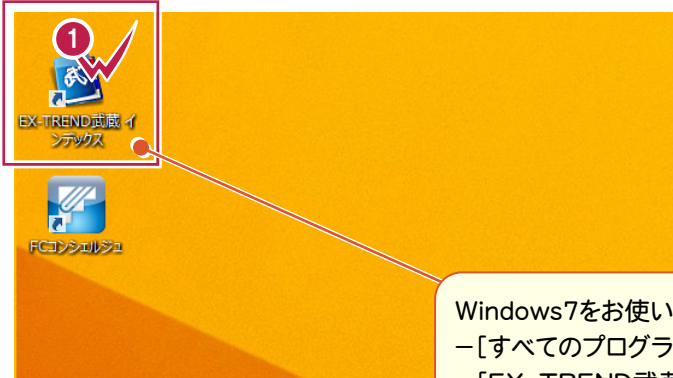
1. 作業設定	1
1-1 [建設CAD]を起動する	1
1-2 [切削オーバーレイ]を起動する	3
1-3 設計層を設定する	3
2. 現地盤の入力	5
2-1 入力条件を確認する	5
2-2 測点を自動入力する	5
2-3 地盤高を入力する	6
2-4 構造物を入力する	12
3. 計画の入力	13
3-1 簡易計画を入力する	13
3-2 横断計画を確認する	15
3-3 縦断計画を確認する	16
4. 帳票の作成	18
4-1 帳票を作成する	18
5. 縦断図・横断図の作成	21
5-1 縦断図を作成する	21
5-2 横断図を作成する	24
6. 図面の印刷	26
6-1 図面を印刷する	26
7. データの保存	27
7-1 データを保存する	27

1 作業設定

切削オーバーレイを起動し、作業設定をおこなひましょう。

1-1 [建設CAD]を起動する

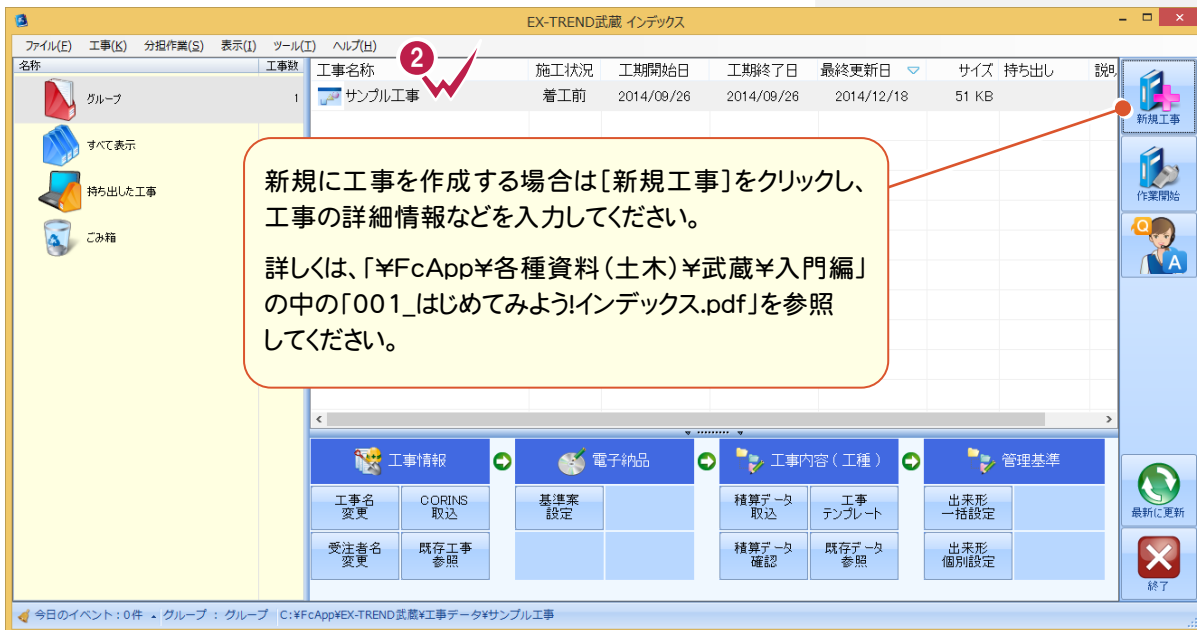
プログラムを起動します。本書ではWindows8.1における操作例で解説します。



1 [EX-TREND武蔵インデックス]をダブルクリックします。

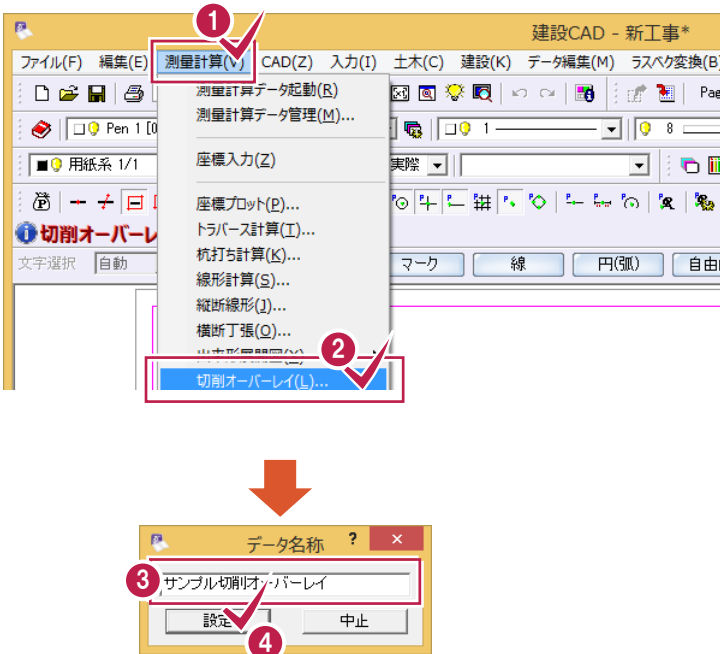
Windows7をお使いの方は、画面左下の[スタートボタン]
-[すべてのプログラム]-[FukuiComputerApplication]
-[EX-TREND武蔵 2015]-[インデックス]をクリックして
起動することができます。

2 既存の[サンプル工事]をダブルクリックします。



1-2 [切削オーバーレイ]を起動する

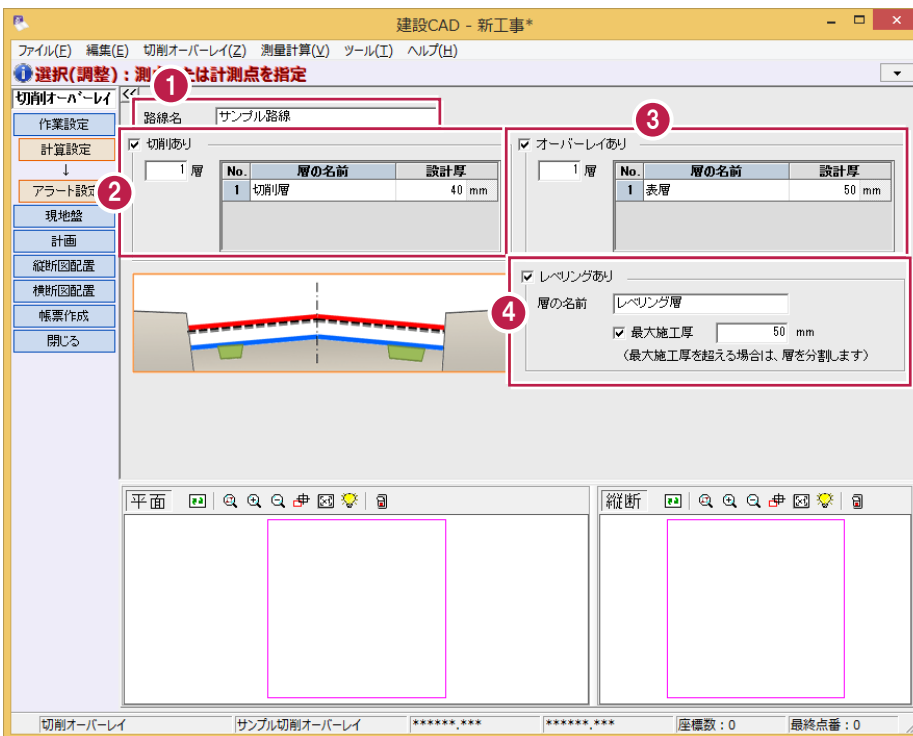
[切削オーバーレイ]を起動します。



- ① [測量計算]をクリックします。
- ② [切削オーバーレイ]をクリックします。
- ③ データ名称を入力します。
- ④ [設定]をクリックします。

1-3 設計層を設定する

路線名を入力し、設計をおこなう計画層を設定します。



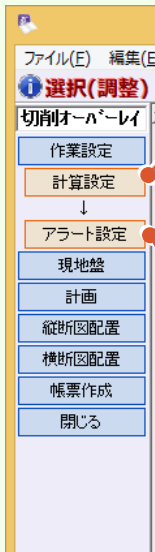
- ① 路線名を入力します。
- ② 切削層 (設計厚:40mm) を設定します。
- ③ 表層 (設計厚:50mm) を設定します。
- ④ レベリング層を設定します。



作業設定のその他のコマンドについて

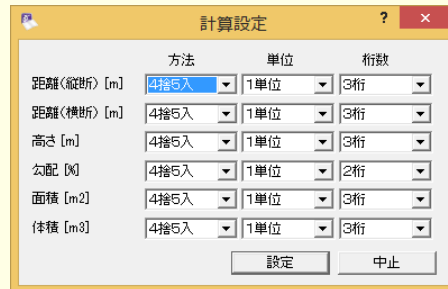
作業ガイドの[作業設定]には、[計算設定]と[アラート設定]コマンドが配置されています。以下に各コマンドの設定内容を簡単に解説します。

必要に応じて、各コマンドを活用してください。詳細についてはヘルプを参照してください。



【計算設定】

[計算設定]ダイアログが表示されます。各項目の丸めに関する設定をおこないます。



【アラート設定】

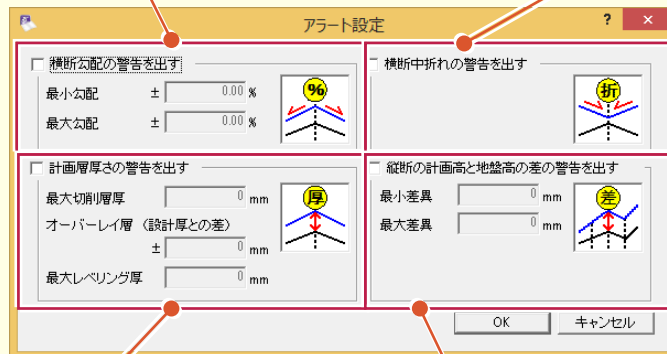
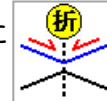
縦断設計、横断設計時の警告条件を設定します。

警告表示は、プロット画面上に **%** **厚** **折** **差** を表示し該当する値も赤で表示します。

横断勾配が範囲外の場合は警告を表示します。最小≦最大の範囲でチェックします。



計画層のセンターが中折れになる場合に警告を表示します。



計画層の厚さが範囲外の場合は警告を表示します。最小≦最大の範囲でチェックします。



縦断の計画高と地盤高の差が範囲外の場合は警告を表示します。最小≦最大の範囲でチェックします。

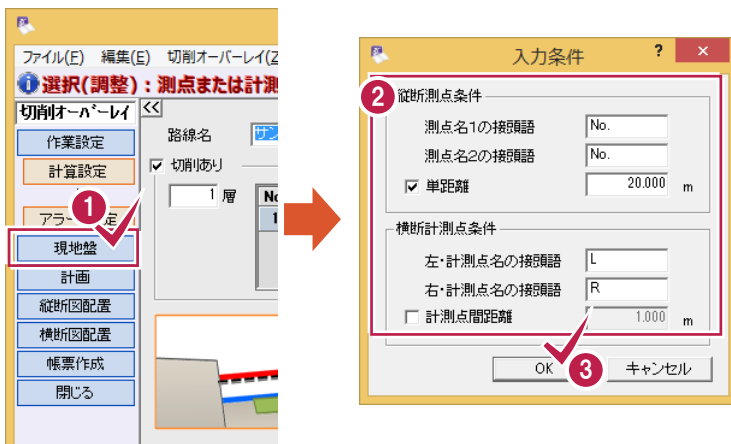


2 現地盤の入力

現地盤を起動してみましょう。

2-1 入力条件を確認する

現地盤の入力画面に切り替えて、入力条件を設定します。

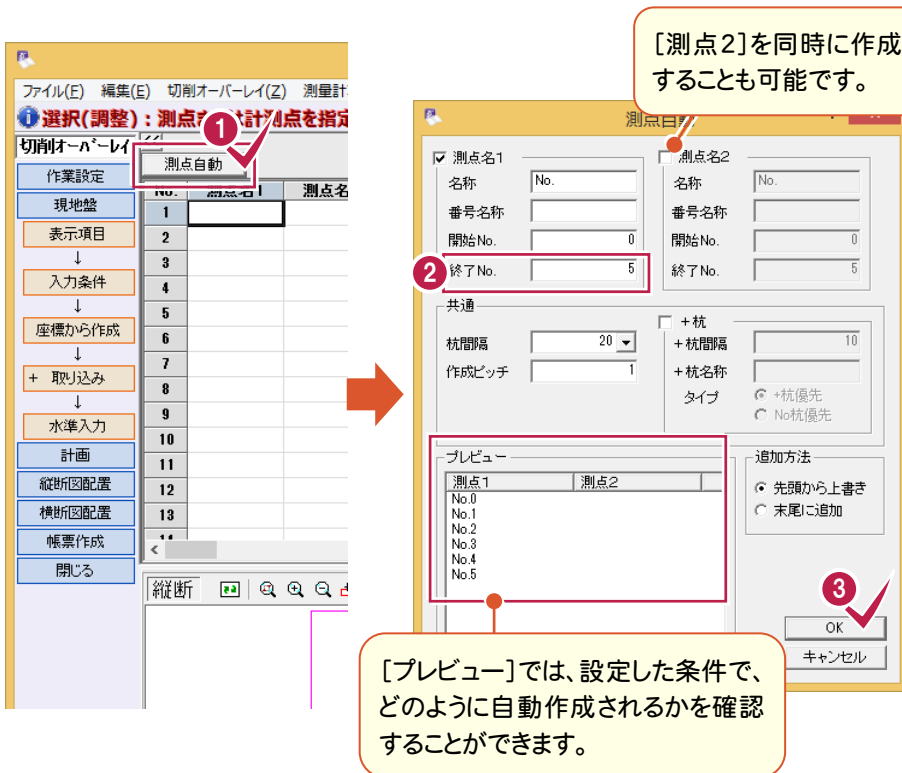


- 1 [現地盤]をクリックします。
- 2 縦断測点条件、横断計測点条件を設定します。操作例では確認のみとします。
- 3 [OK]をクリックします。

2-2 測点を自動入力する

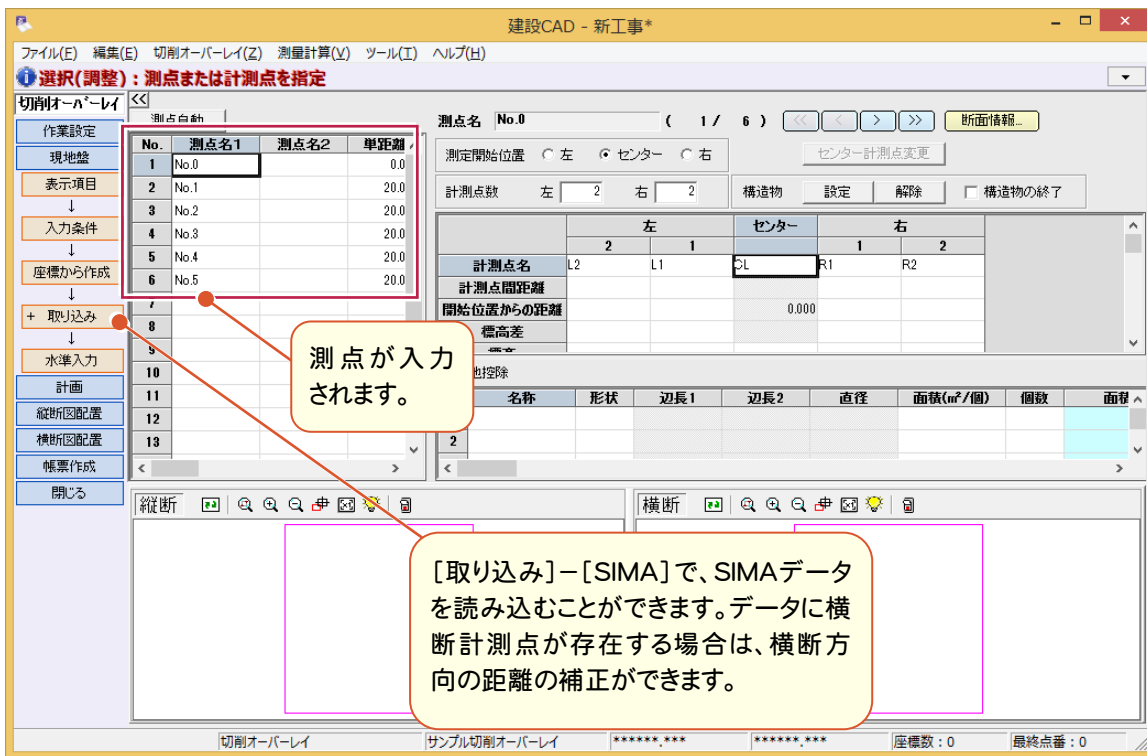
測点を入力します。

操作例では、[測点自動]コマンドを使用して測点を自動作成する方法を解説します。入力画面のセル上に、直接測点名と単距離(または追加距離)を入力しても構いません。



- 1 [測点自動]をクリックします。
- 2 自動作成条件を設定します。操作例では[終了No.]に「5」と入力します。
- 3 [OK]をクリックします。

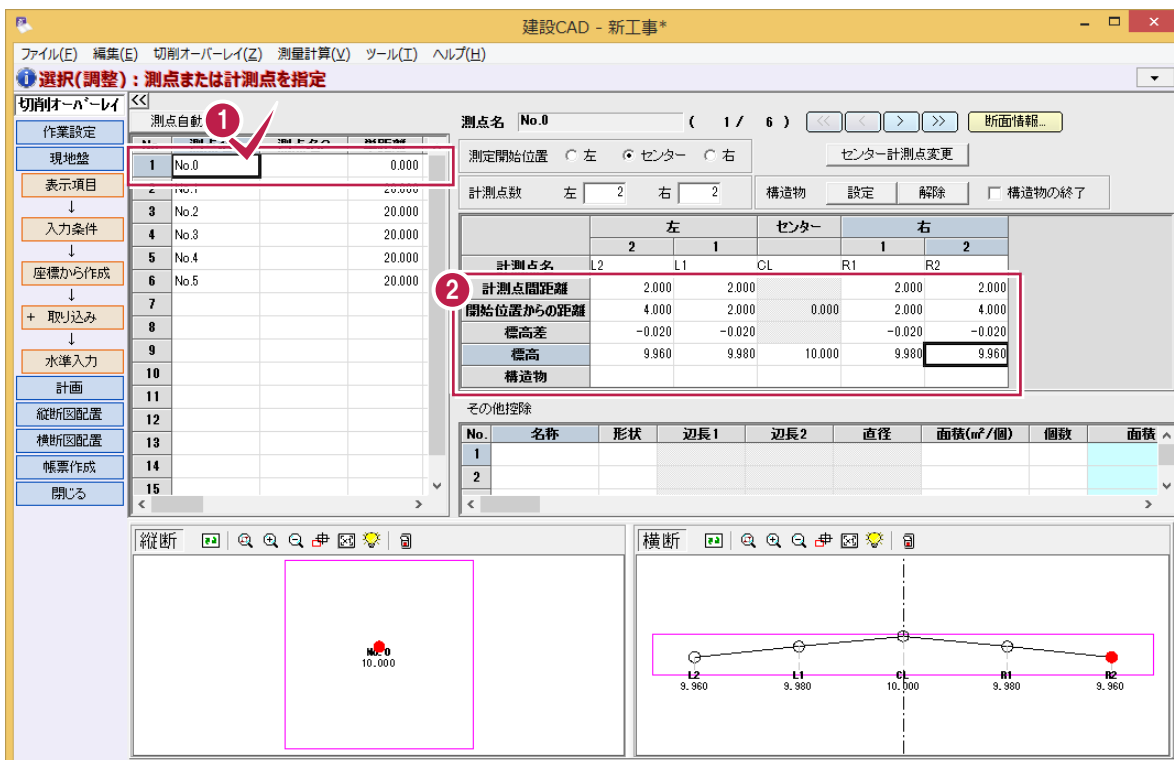
2. 現地盤の入力



2-3 地盤高を入力する

測点毎に横断方向の距離、標高など現況の測定結果を入力します。操作例では、測点「No.0」から順に横断方向の距離と高さを入力します。

- 1 「No.0」を選択します。
- 2 横断方向の距離と高さを入力します。



3 ~ 12

同様に「No.1」「No.2」「No.3」「No.4」「No.5」の横断方向の距離と高さを入力します。

建設CAD - 新工事*

ファイル(E) 編集(E) 切削オーバーレイ(Z) 測量計算(Y) ツール(I) ヘルプ(H)

① 選択(調整) : 測点または計測点を指定

切削オーバーレイ <<

測点自動

No.	測点名	測点名2	単距離
1	No.0		0.000
2	No.1		20.000
3	No.2		20.000
4	No.3		20.000
5	No.4		20.000
6	No.5		20.000
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

測点名 No.1 (2 / 6) << < > >> 断面情報...

測定開始位置 左 センター 右 センター計測点変更

計測点数 左 2 右 2 構造物 設定 解除 構造物の終了

計測点名	左		センター	右	
	2	1	CL	1	2
計測点間距離	2.000	2.000		2.000	2.000
開始位置からの距離	4.000	2.000	0.000	2.000	4.000
標高差	-0.020	-0.020		-0.010	-0.040
標高	10.210	10.230	10.250	10.240	10.200
構造物					

④

その他控除

No.	名称	形状	辺長1	辺長2	直径	面積(m ² /個)	個数	面積
1								
2								

縦断

横断

切削オーバーレイ サンプル切削オーバーレイ ***** 座標数: 0 最終点番: 0



建設CAD - 新工事*

ファイル(E) 編集(E) 切削オーバーレイ(Z) 測量計算(Y) ツール(I) ヘルプ(H)

① 選択(調整) : 測点または計測点を指定

切削オーバーレイ <<

測点自動

No.	測点名	測点名2	単距離
1	No.0		0.000
2	No.1		20.000
3	No.2		20.000
4	No.3		20.000
5	No.4		20.000
6	No.5		20.000
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

測点名 No.2 (3 / 6) << < > >> 断面情報...

測定開始位置 左 センター 右 センター計測点変更

計測点数 左 2 右 2 構造物 設定 解除 構造物の終了

計測点名	左		センター	右	
	2	1	CL	1	2
計測点間距離	2.000	2.000		2.000	2.000
開始位置からの距離	4.000	2.000	0.000	2.000	4.000
標高差	-0.030	-0.010		-0.020	-0.010
標高	10.460	10.490	10.500	10.480	10.470
構造物					

⑥

その他控除

No.	名称	形状	辺長1	辺長2	直径	面積(m ² /個)	個数	面積
1								
2								

縦断

横断

切削オーバーレイ サンプル切削オーバーレイ ***** 座標数: 0 最終点番: 0



2. 現地盤の入力

切削オーバーレイ

測点自動

No.	測点名1	測点名2	単距離
1	No.0		0.000
2	No.1		20.000
3	No.2		20.000
4	No.3		20.000
5	No.4		20.000
6	No.5		20.000
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

測点名 No.3 (4 / 6)

測定開始位置 左 センター 右

計測点数 左 2 右 2 構造物 設定 解除 構造物の終了

計測点名	左		センター	右	
	2	1	CL	1	2
計測点間距離	2.000	2.000		2.000	2.000
開始位置からの距離	4.000	2.000	0.000	2.000	4.000
標高差	-0.040	-0.030		-0.030	-0.040
標高	10.680	10.720	10.750	10.720	10.680
構造物					

その他控除

No.	名称	形状	辺長1	辺長2	直径	面積(m ² /個)	個数	面積
1								
2								

縦断面

横断面

切削オーバーレイ

測点自動

No.	測点名1	測点名2	単距離
1	No.0		0.000
2	No.1		20.000
3	No.2		20.000
4	No.3		20.000
5	No.4		20.000
6	No.5		20.000
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

測点名 No.4 (5 / 6)

測定開始位置 左 センター 右

計測点数 左 2 右 2 構造物 設定 解除 構造物の終了

計測点名	左		センター	右	
	2	1	CL	1	2
計測点間距離	2.000	2.000		2.000	2.000
開始位置からの距離	4.000	2.000	0.000	2.000	4.000
標高差	-0.030	0.000		-0.030	-0.010
標高	10.460	10.490	10.490	10.460	10.450
構造物					

その他控除

No.	名称	形状	辺長1	辺長2	直径	面積(m ² /個)	個数	面積
1								
2								

縦断面

横断面

切削オーバーレイ

測点自動

No.	測点名1	測点名2	単距離
1	No.0		0.000
2	No.1		20.000
3	No.2		20.000
4	No.3		20.000
5	No.4		20.000
6	No.5		20.000
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

測点名 No.5 (6 / 6)

測定開始位置 左 センター 右

計測点数 左 2 右 2 構造物 設定 解除 構造物の終了

計測点名	左		センター	右	
	2	1	CL	1	2
計測点間距離	2.000	2.000		2.000	2.000
開始位置からの距離	4.000	2.000	0.000	2.000	4.000
標高差	0.000	-0.030		-0.020	-0.018
標高	10.230	10.230	10.260	10.240	10.222
構造物					

その他控除

No.	名称	形状	辺長1	辺長2	直径	面積(m ² /個)	個数	面積
1								
2								

縦断面

横断面

メモ

[センター計測点変更]について

[横断データ一覧]で選択中の列をセンターに変更することができます。
詳細はヘルプを参照してください。

建設CAD - 新工事*

ファイル(E) 編集(E) 切削オーバーレイ(Z) 測量計算(L) ツール(I) ヘルプ(H)

① 選択(調整) : 測点または計測点を指定

測点名 No.5 (6 / 6)

測定開始位置 左 センター 右

計測点数 左 2 右 2 構造物 設定 解除 構造物の終了

	左		センター	右	
	2	1		1	2
計測点名	L2	L1		R1	R2
計測点間距離	2.000	2.000		2.000	2.000
開始位置からの距離	4.000	2.000	0.000	2.000	4.000
標高差	0.000	-0.030		-0.020	-0.018
標高	10.230	10.230	10.260	10.240	10.222
構造物					

② センター計測点変更

その他控除

No.	名称	形状	辺長1	辺長2	直径	面積(m ² /個)	個数	面積
1								
2								

縦断

横断

切削オーバーレイ サンプル切削オーバーレイ ***** 座標数: 0 最終点番: 0



建設CAD - 新工事*

ファイル(E) 編集(E) 切削オーバーレイ(Z) 測量計算(L) ツール(I) ヘルプ(H)

① 選択(調整) : 測点または計測点を指定

測点名 No.5 (6 / 6)

測定開始位置 左 センター 右

計測点数 左 1 右 3 構造物 設定 解除 構造物の終了

	左	センター	右		
	1		1	2	3
計測点名	L2	L1	R1	R2	
計測点間距離	2.000		2.000	2.000	2.000
開始位置からの距離	2.000	0.000	2.000	4.000	6.000
標高差	0.000		0.030	-0.020	-0.018
標高	10.230	10.230	10.260	10.240	10.222
構造物					

その他控除

No.	名称	形状	辺長1	辺長2	直径	面積(m ² /個)	個数	面積
1								
2								

縦断

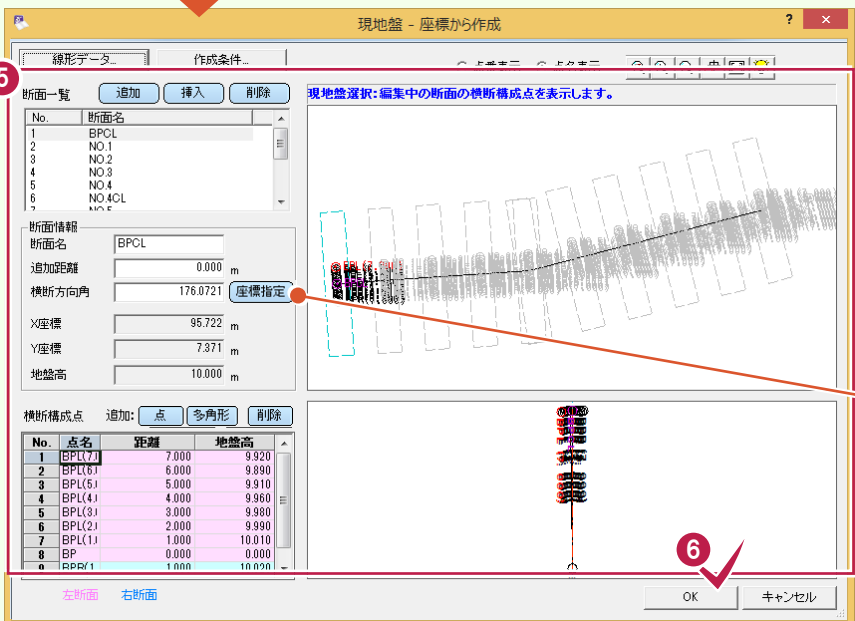
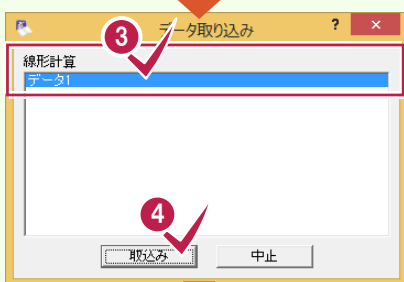
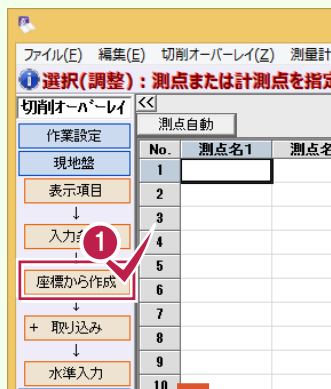
横断

切削オーバーレイ サンプル切削オーバーレイ ***** 座標数: 0 最終点番: 0



[座標から作成]コマンドについて

作業ガイドの[現地盤]の[座標から作成]コマンドで、TS等で現地盤観測したデータより、線形計算のデータを利用して現地盤を作成できます。詳細はヘルプを参照してください。



1 [座標から作成]をクリックします。

2 現地盤を作成する線形データを選択します。

3 [線形データ]をクリックします。

4 [取込み]をクリックします。

5 取り込まれた現地盤データを確認します。

6 [OK]をクリックします。

メモ

[水準入力]コマンドについて

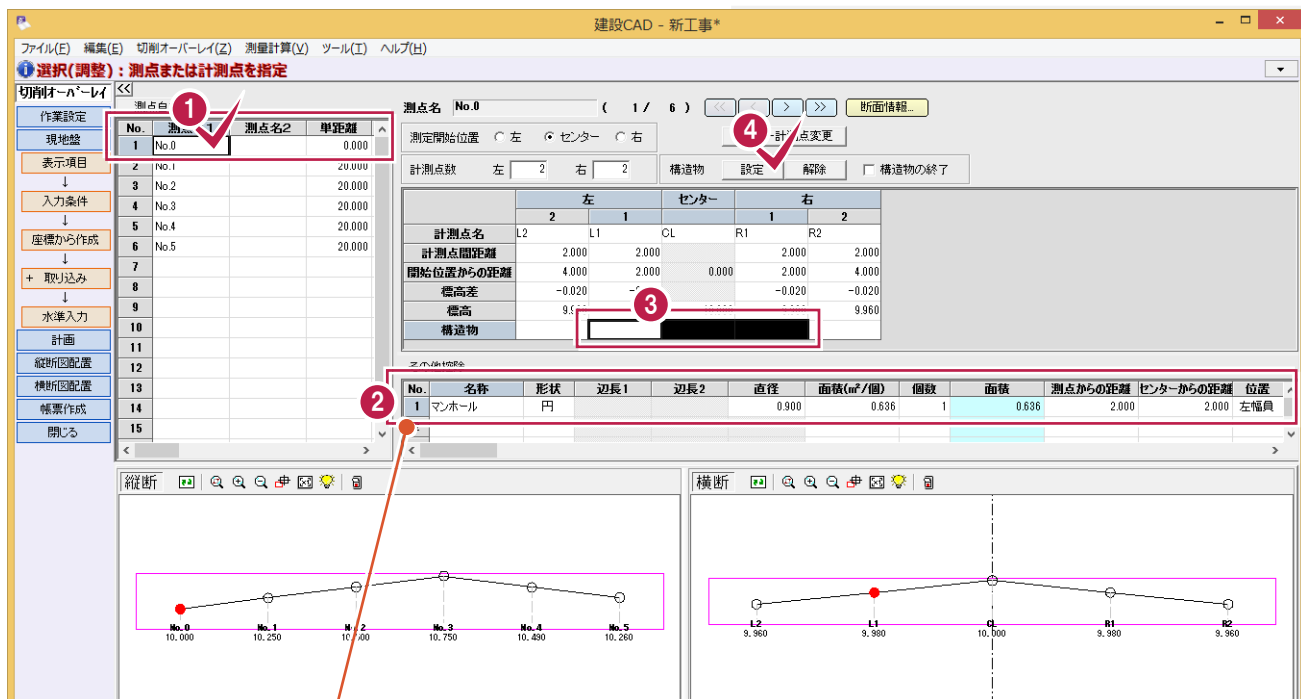
作業ガイドの[現地盤]の[水準入力]コマンドで、TSの変更で簡易的な水準入力を行うことができます。必要に応じて活用してください。詳細はヘルプを参照してください。

The screenshot shows the '建設CAD - 新工事*' software interface. The main window displays the '水準入力' (Level Input) command. The interface is divided into several sections:

- Menu (Left):** Includes options like '作業設定', '現地盤', '表示項目', '入力条件', '座標から作成', '水準入力' (highlighted with a red box and a red arrow), '計画', '縦断面配置', '横断面配置', '帳票作成', and '閉じる'.
- Data Table (Center):** A table with columns 'No.', '測点名1', '測点名2', and '単距離'. It lists points No. 0 to No. 5 with distances of 0.000, 20.000, 20.000, 20.000, 20.000, and 20.000 respectively.
- Parameters (Right):** Includes '測点名 No.0', '測定開始位置' (Left, Center, Right), '計測点数' (Left: 2, Right: 2), and '構造物' (設定, 解除, 構造物の終了).
- Graphical Display (Bottom):** Shows two cross-sections: '縦断面' (Vertical Section) and '横断面' (Horizontal Section). The vertical section shows points No. 0 to No. 5 with elevations of 10.000, 10.250, 10.500, 10.750, 10.490, and 10.260. The horizontal section shows points L2, L1, CL, R1, and R2 with elevations of 9.960, 9.980, 10.000, 9.980, and 9.960.

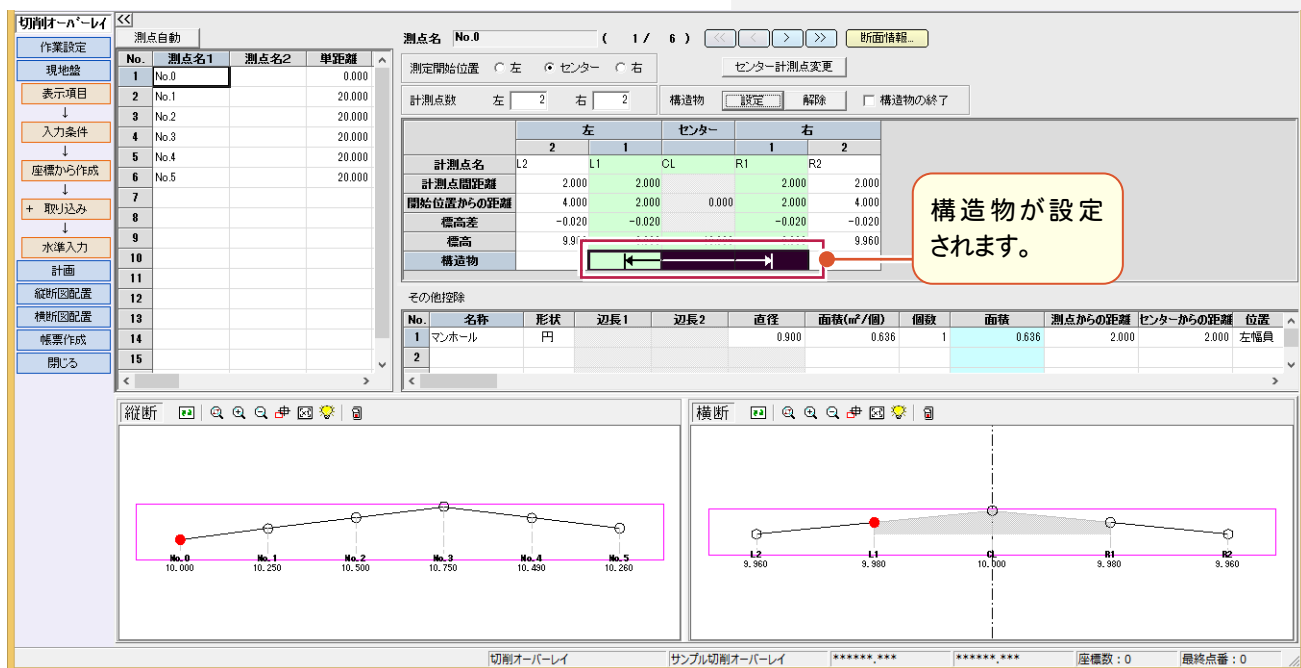
2-4 構造物を入力する

構造物を入力します。



分離帯などの控除物を入力します。
最大20まで入力できます。

- 1 構造物を入力する断面を選択します。
- 2 構造物の名称などを入力します。
- 3 構造物を設定する計測点を選択します。
- 4 [設定]をクリックします。



3 計画の入力

計画を入力してみましょう。

3-1 簡易計画を入力する

簡易計画を入力します。

1 [計画]をクリックします。

2 [基本となる層の計画]が選択されていることを確認します。

3 対象測点、計画方法、計画開始位置、詳細設定などを設定します。

4 [実行]をクリックします。

[現在の縦断計画を維持する]のチェックをオンにすると、実行前・後で同じ縦断計画の結果を得ることができます。

指定した設定で計画データ(赤色)が入力されます。

No.	測点名1	測点名2	層
1	No.0		
2	No.1		
3	No.2		
4	No.3		
5	No.4		
6	No.5		
7			
8			
9			

縦断

No.	10,000	10,250	10,500	10,750	10,450	10,260
No.0	10,000	10,250	10,500	10,750	10,450	10,260
	0	0	0	0	0	0

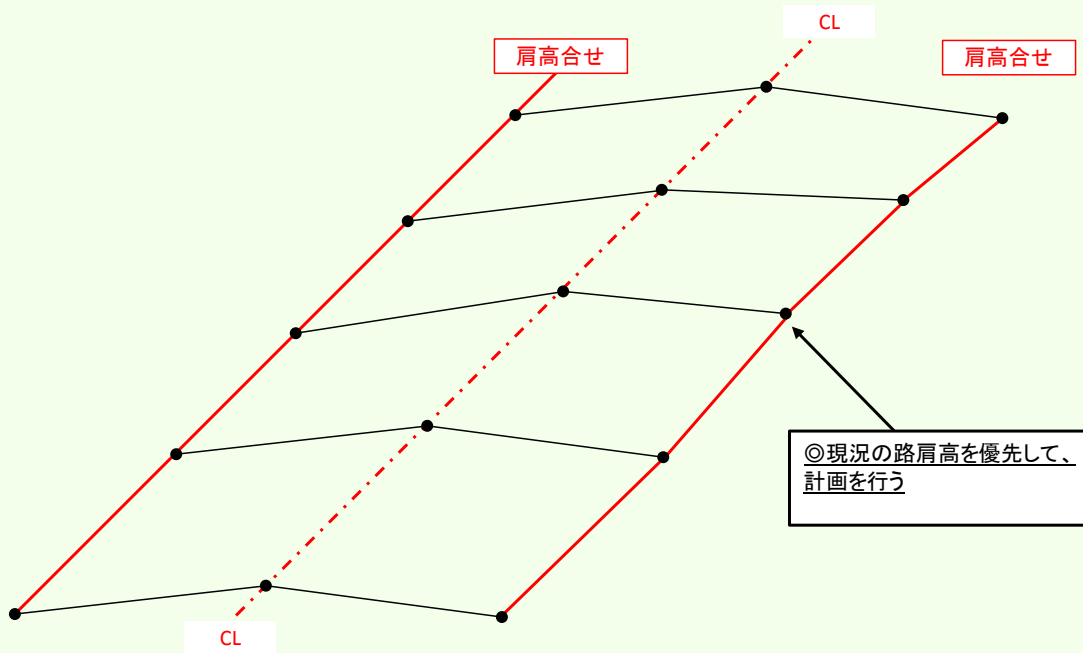
横断

L2	L1	C1	R1	R2
9,960	9,980	10,000	9,980	9,960
9,960	9,980	10,000	9,980	9,960
0	0	0	0	0

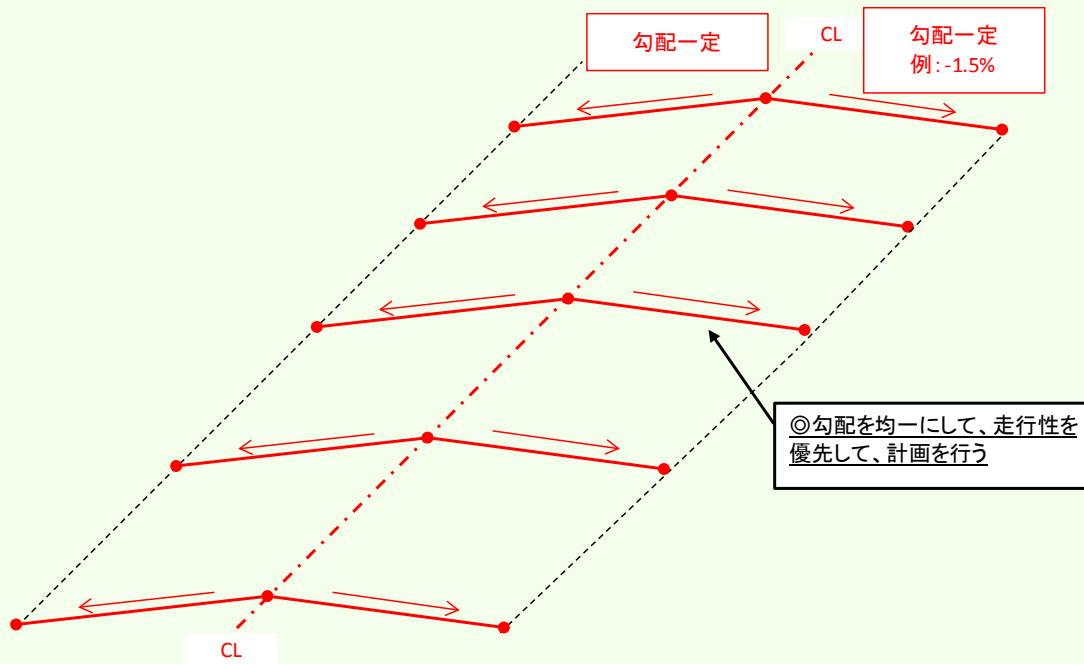


計画方法について

[現況勾配で計画]: 現況の路肩高を優先して、計画を行います。



[勾配を指定して計画]: 指定した勾配を優先して、計画を行います。



3-2 横断計画を確認する

横断計画を確認します。操作例では、横断勾配を「-1.5%」に調整します。

建設CAD - 新工事*

ファイル(E) 編集(E) 簡単計画(Z) 測量計算(Y) ツール(I) ヘルプ(H)

① 選択(調整): 測点または計測点を指定

戻る

基本となる層の計画 縦断線形補正 元に戻す やり直し

現地盤から、各層を作成します。(現在の計画データはクリアされます)

対象測点 計画方法 詳細設定

建設CAD - 新工事*

ファイル(E) 編集(E) 切削オーバーレイ(Z) 測量計算(Y) ツール(I) ヘルプ(H)

② 選択(調整): 測点または計測点を

切削オーバーレイ

作業設定 現地盤 計画 表示項目 簡単計画 横断一括 現地盤交点 縦断図配置 横断図配置 帳票作成 閉じる

③ 横断

④

測点名 No.0 (1 / 6)

対象層 表層 計測点数 左 2 右 2

	左	1	センター	1	右	2
変化点	○	○	○	○	○	○
計測点名	L2	L1	CL	R1	R2	
計測点間距離	2,000	2,000		2,000	2,000	2,000
開始位置からの距離	4,000	2,000	0,000	2,000	4,000	
基準高	9,900	9,930	9,950	9,930	9,900	
計画高	9,950	9,980	10,000	9,980	9,950	
勾配	-1.50	-1.00		-1.00	-1.50	
属性						
構造物						

縦断 横断

切削オーバーレイ サンプル切削オーバーレイ ***** 座標数: 0 最終点番: 0

① [戻る]をクリックします。

② [横断]を選択します。

③ 測点を指定します。

④ 勾配を「-1.5」に調整します。

⑤ 同様に他の測点の勾配も調整します。

建設CAD - 新工事*

ファイル(E) 編集(E) 切削オーバーレイ(Z) 測量計算(Y) ツール(I) ヘルプ(H)

⑤ 選択(調整): 測点または計測点を指定

切削オーバーレイ

作業設定 現地盤 計画 表示項目 簡単計画 横断一括 現地盤交点 縦断図配置 横断図配置 帳票作成 閉じる

⑤

縦断 横断

測点名 No.5 (6 / 6)

対象層 表層 計測点数 左 2 右 2 成果を作成する

	左	1	センター	1	右	2
変化点	○	○	○	○	○	○
計測点名	L2	L1	CL	R1	R2	
計測点間距離	2,000	2,000		2,000	2,000	2,000
開始位置からの距離	4,000	2,000	0,000	2,000	4,000	
基準高	10,150	10,180	10,210	10,180	10,150	
計画高	10,200	10,230	10,260	10,230	10,200	
厚さ	50	50	50	50	50	
勾配	-1.50				-1.50	
属性						
構造物						

縦断 横断

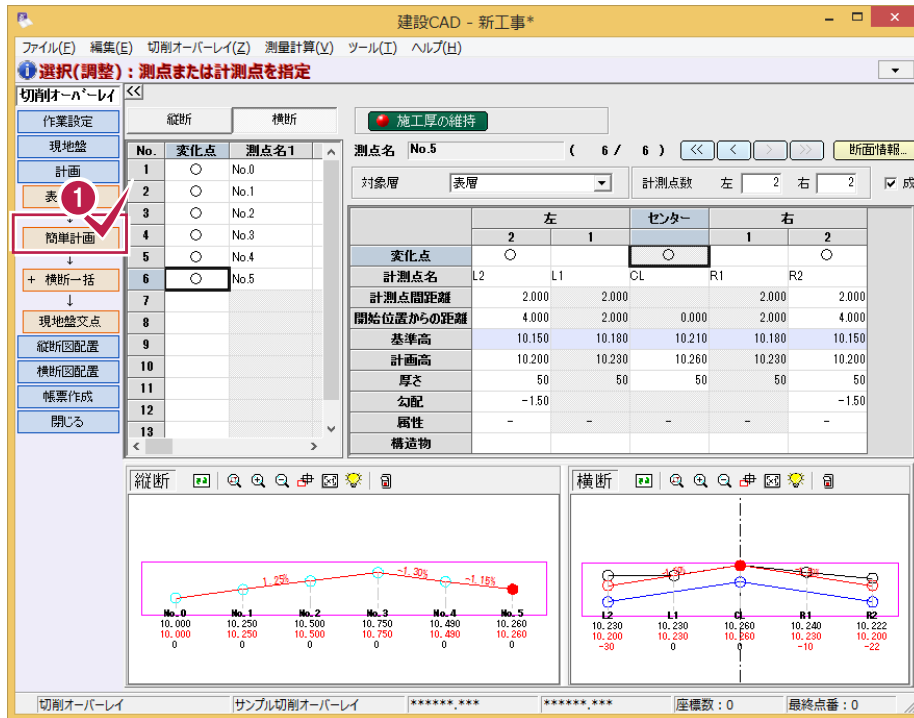
切削オーバーレイ サンプル切削オーバーレイ ***** 座標数: 0

横断面を成果の作成に使用する場合にオンにします。縦断線形の計画点としてのみ必要な場合はオフにしてください。オフの横断面は[舗装展開図]の[データ入力]-[切削オーバーレイ読込]コマンドでも読み込まれません。

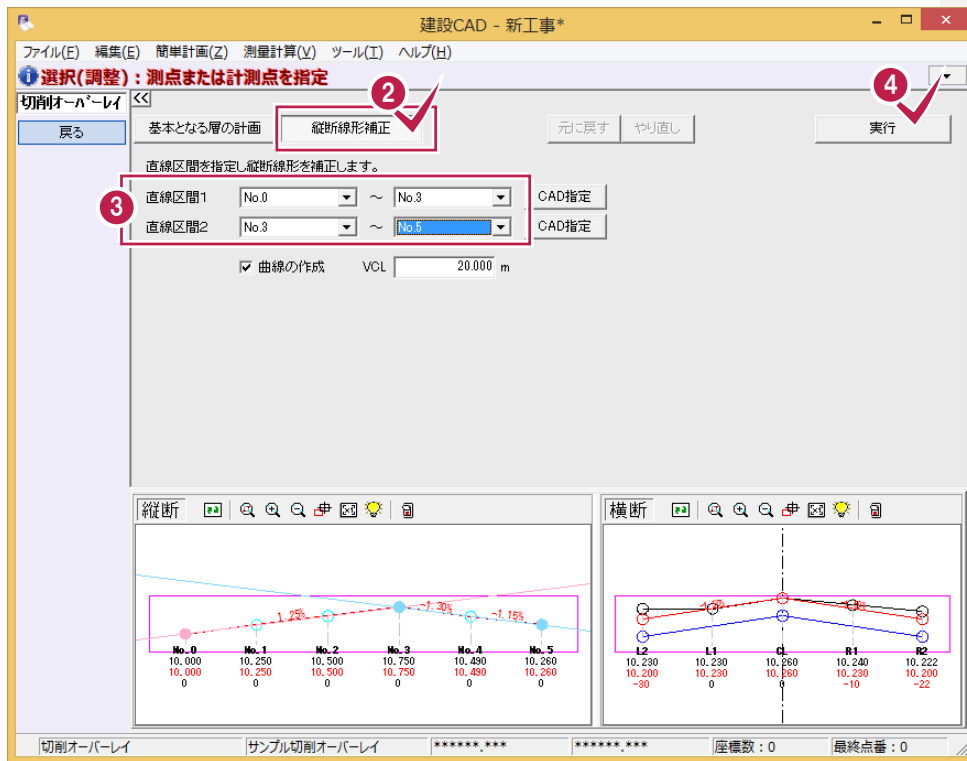
縦断、横断のプロットを確認しながら調整します。

3-3 縦断計画を確認する

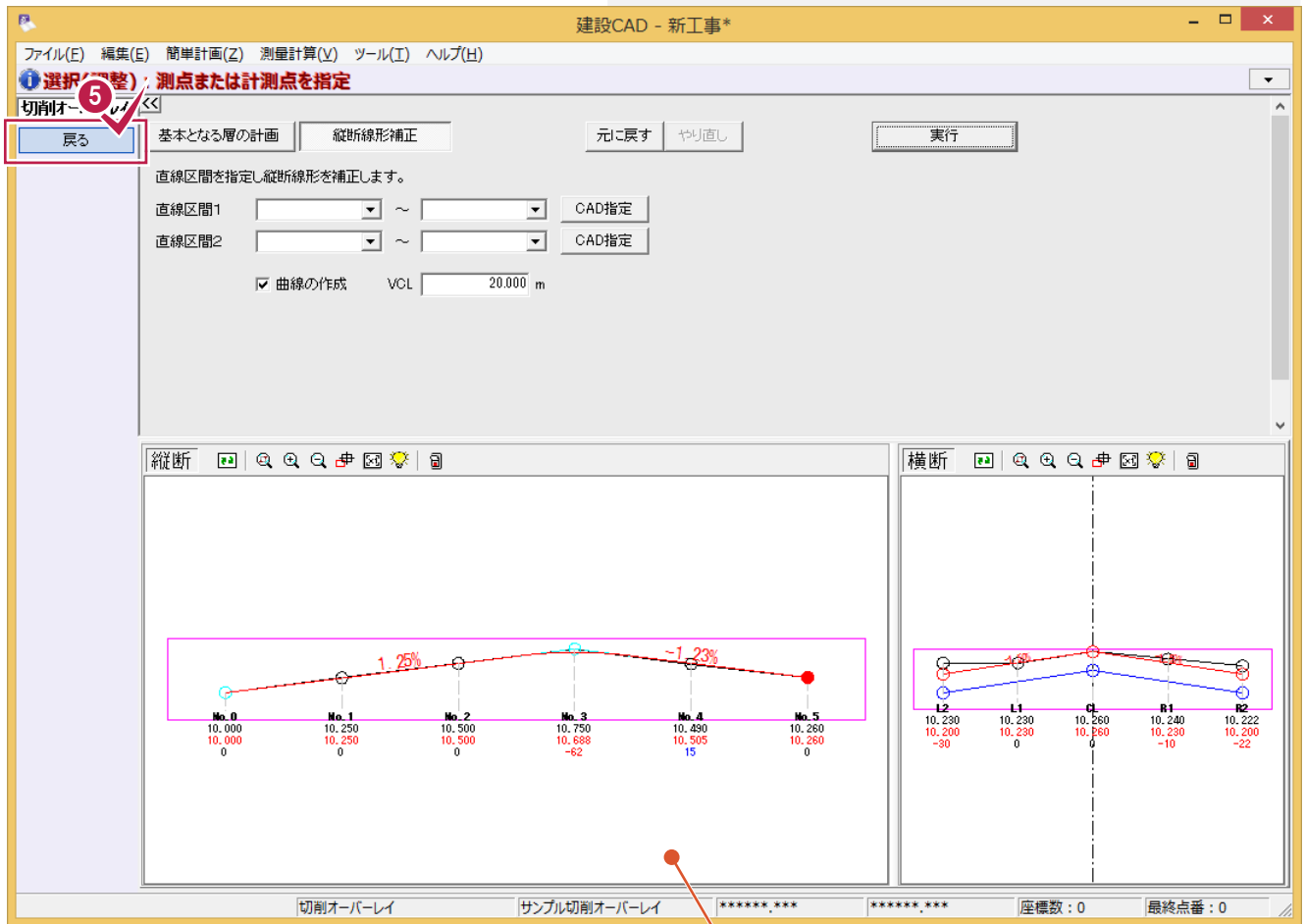
縦断計画を確認します。操作例では、縦断線形を補正します。



- 1 [簡易計画]をクリックします。
- 2 [縦断線形補正]をクリックします。
- 3 直線区間を設定します。操作例では、[直線区間1]に「No.0」～「No.3」、[直線区間2]に「No.3」～「No.5」を設定します。
- 4 [実行]をクリックします。



5 縦断線形補正を終了したら、[戻る]をクリックします。



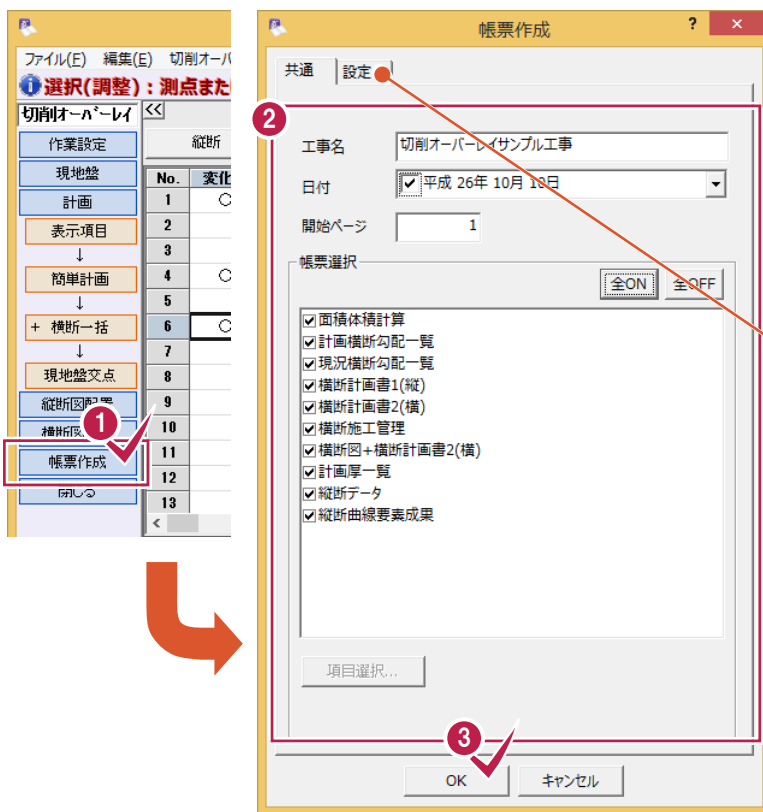
縦断線形が補正されたことが確認できます。

4 帳票の作成

すべての計画が完了したら、帳票を作成してみましょう。

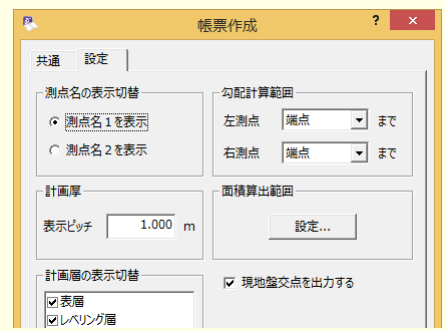
4-1 帳票を作成する

帳票を作成します。

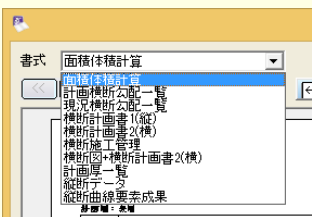


- 1 [帳票作成]をクリックします。
- 2 作成する帳票を選択し、記載する内容を設定します。
- 3 [OK]をクリックします。

[設定]タブでは、帳票の作成方法に関する設定を行うことができます。



このリストボックスで、作成した帳票を切り替えて確認することができます。



帳票レビュー

書式: 面積体積計算

1/8

印刷 EXCEL 閉じる

面積体積計算

工事名: 切削オーバーレイサンプル工事
 測量名: サンプル測量
 計算層: 表層

平成 26 年 10 月 18 日

No.	測点名	幅員 (m)	幅員 (m)	平均 (m)	断面 (m ²)	断面 (m ²)	断面平均 (m ²)	長さ (m)
1	No.0							
2	No.1	20.000	2.000	2.000	169.364	0.400	0.400	2.000
3	No.2	20.000	2.000	2.000	169.360	0.400	0.400	2.000
4	No.3	20.000	2.000	2.000	169.360	0.400	0.400	2.000
5	No.4	20.000	2.000	2.000	169.360	0.400	0.400	2.000
6	No.5	20.000	2.000	2.000	169.360	0.400	0.400	2.000
合 計					846.804	1.600	1.600	40.000
					断面積 (m ²)	171.364		
					平均厚 (m)		40	

メモ

「横断図+横断計画書2(横)」について

「横断図+横断計画書2(横)」を作成する場合は、出力する項目、列数などを設定することもできます。

1 「横断図+横断計画書2(横)」をクリックします。

2 出力する項目、列数を設定します。

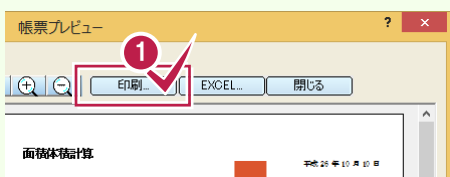
[項目選択]をクリックして表示される[出力項目選択]ダイアログで出力する項目を設定できます。

[列数を用紙に合わせて自動計算]のチェックのオンオフで列数を設定します。列数を用紙に合わせて自動計算するときはチェックをオンにします。オフのときは[最大列数]を設定します。

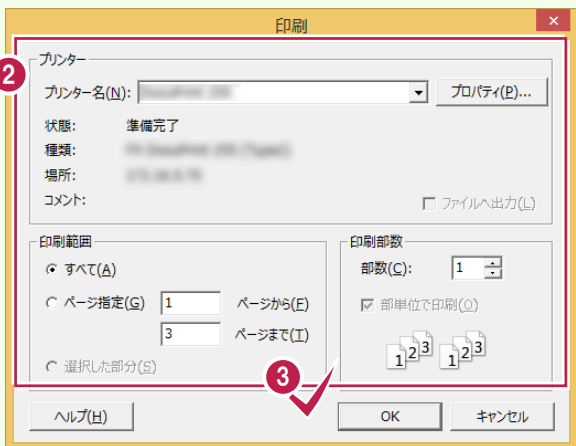


帳票の印刷について

[帳票プレビュー]の[印刷]で、作成した帳票を必要に応じて印刷することができます。

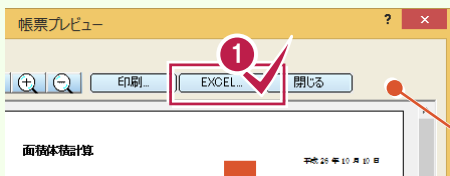


- 1 [印刷]をクリックします。
- 2 プリンター名、印刷範囲などを設定します。
- 3 [OK]をクリックします。

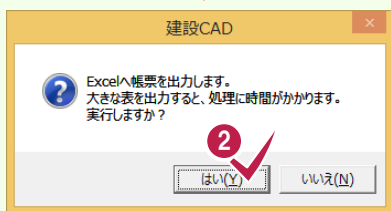


EXCELへの出力について

[帳票プレビュー]の[EXCEL]で、作成した帳票を必要に応じてEXCEL形式で出力することができます。



- 1 [EXCEL]をクリックします。
- 2 確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。



データが保存されていないときは、メッセージが表示されます。

データが保存されていません。
「インデックスへ登録した成果の再編集には、データの「保存」が必要です。
データの「保存」をせずに登録しますか？

【はい】このまま登録します。(成果の再編集は行えません。)
【いいえ】コマンドを中止します。(データを「保存」してください。)

No.	測点名	距離 (m)	幅員 (m)	平均 (m)	面積 (m ²)	
1	No..0		8.000			
2	No..1	20.000	8.000	8.000	160.000	
3	No..2	20.000	8.000	8.000	160.000	
4	No..3	20.000	8.000	8.000	160.000	
5	No..4	20.000	8.000	8.000	160.000	
6	No..5	20.000	8.000	8.000	160.000	
集計					面積計(m ²)	799.204

5 縦断図・横断図の作成

縦断図・横断図を作成してみましょう。

5-1 縦断図を作成する

[縦断図配置]で作図条件を設定して、縦断図を作成します。



1 [縦断図配置]をクリックします。

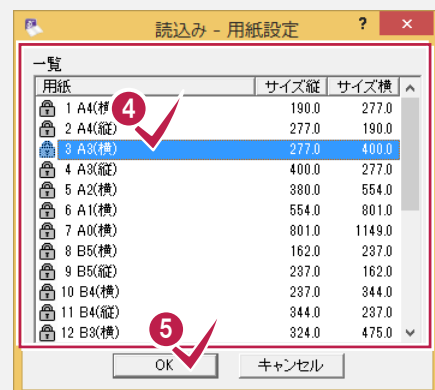
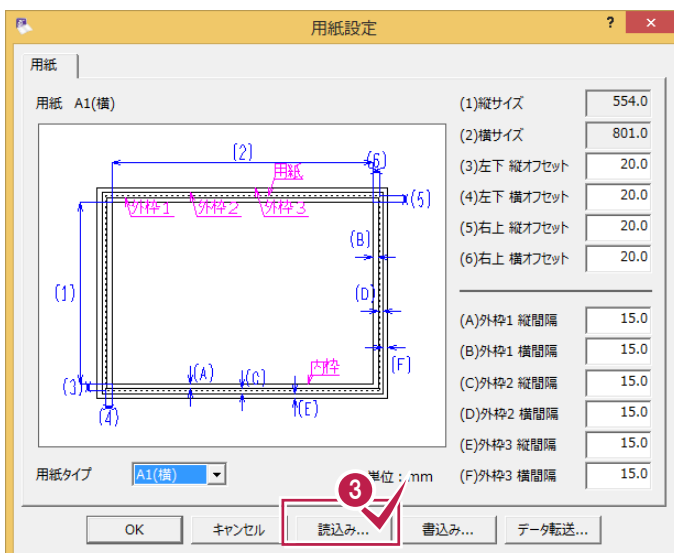
2 操作例では、用紙を「A3(横)」に設定するので、[用紙]の[変更]をクリックします。



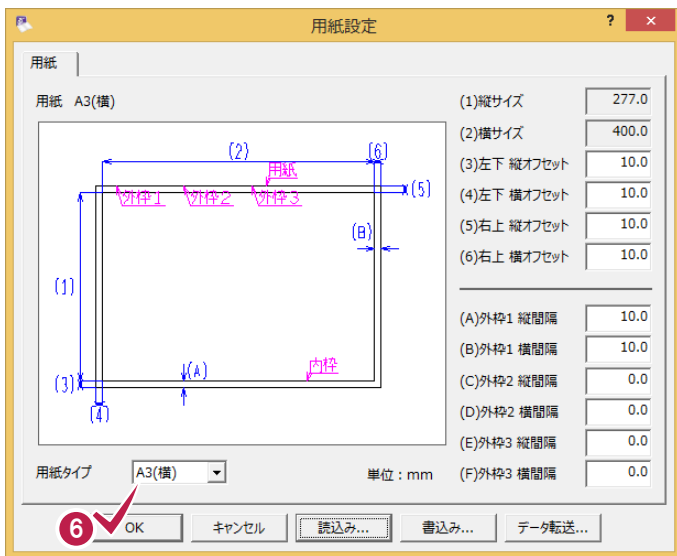
3 [読み込み]をクリックします。

4 「A3(横)」を選択します。

5 [OK]をクリックします。



5. 縦断面・横断面図の作成

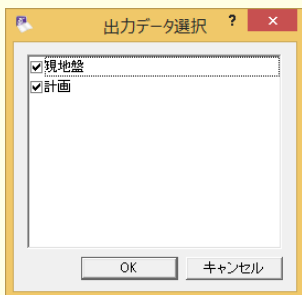


6 [OK]をクリックします。

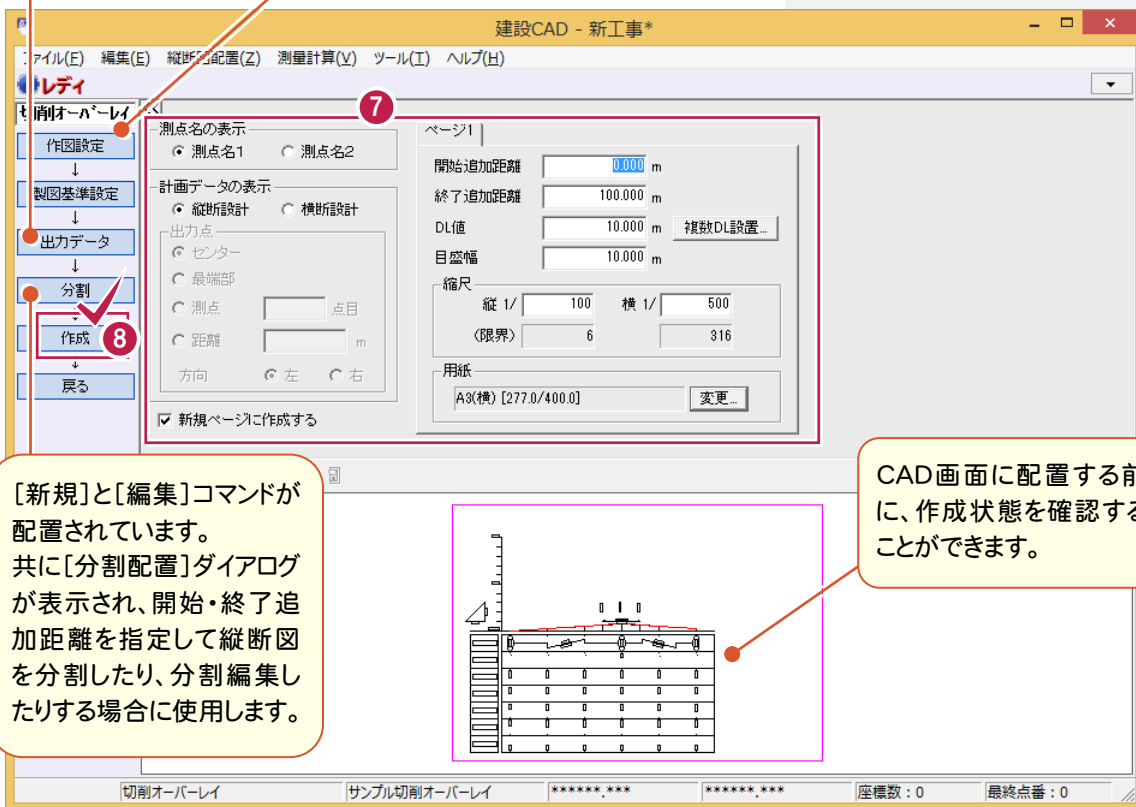
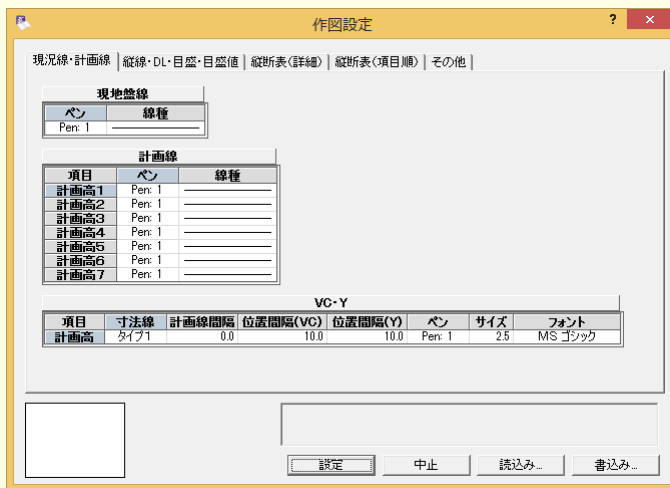
7 操作例のように、縮尺など各種作成条件を設定します。操作例では、確認のみとします。

8 [作成]をクリックします。

出力データを選択します。表示内容は、[形状図配置]ビューの[計画データの表示]の設定で異なります。

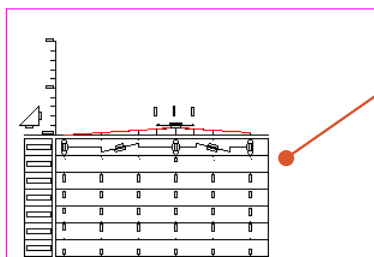


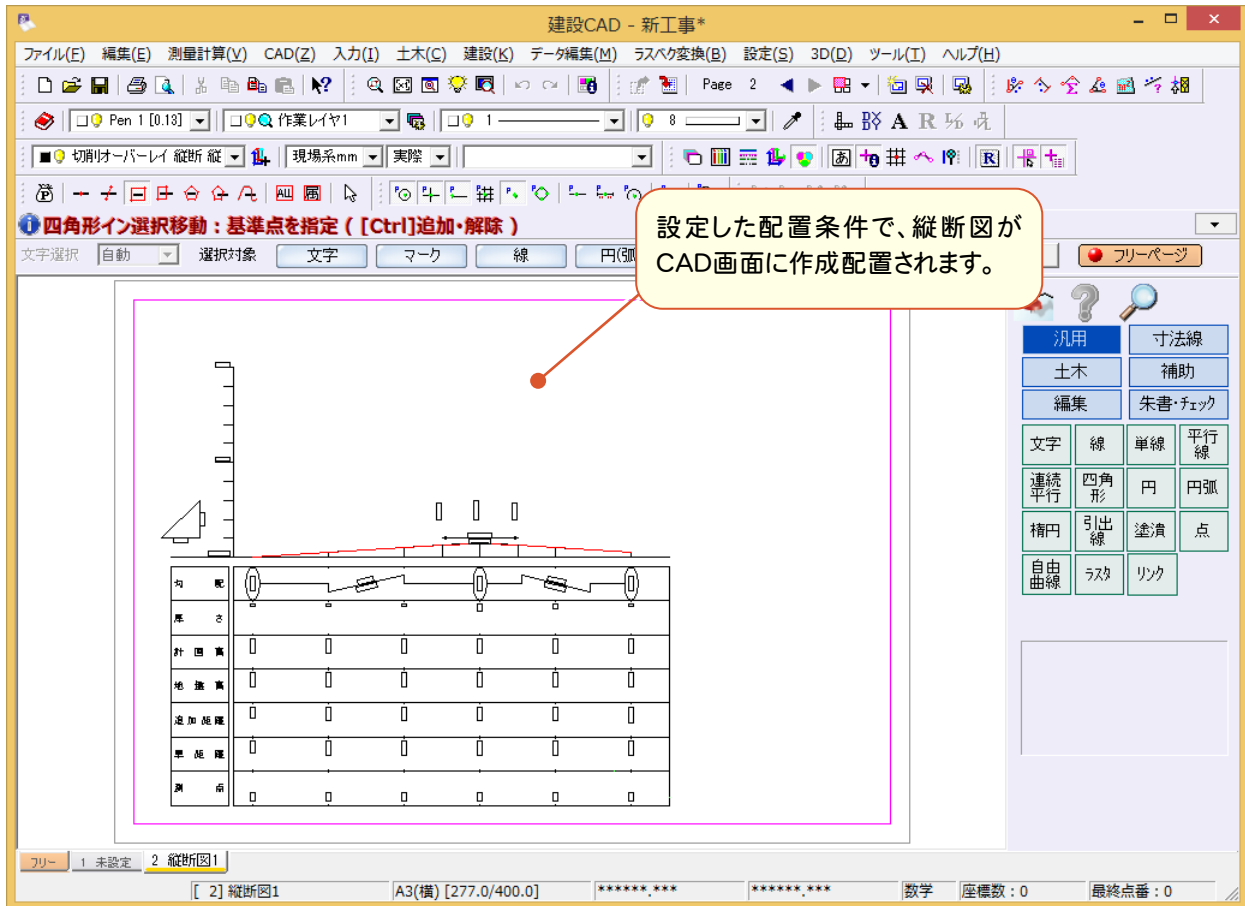
[作図設定]を実行すると、下のような[作図設定]ダイアログが表示され、作図ペンNoなどを設定することができます。



[新規]と[編集]コマンドが配置されています。共に[分割配置]ダイアログが表示され、開始・終了追加距離を指定して縦断面を分割したり、分割編集したりする場合に使用します。

CAD画面に配置する前に、作成状態を確認することができます。





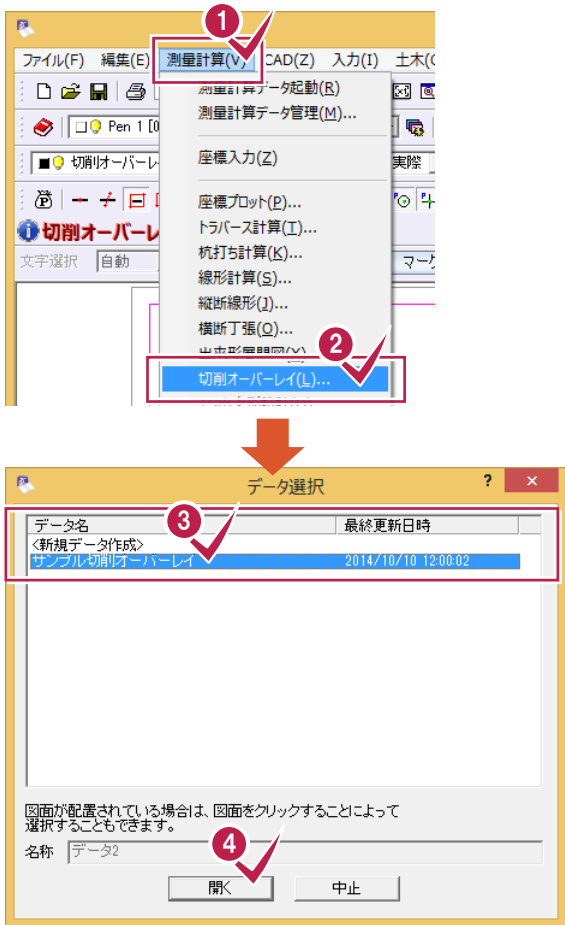
縦断面図配置後に、引き続きCADで編集できるように、[作成]コマンド実行後はすぐにCAD画面に切り替わり、測量計算([切削オーバーレイ])はデータを更新して終了しています。



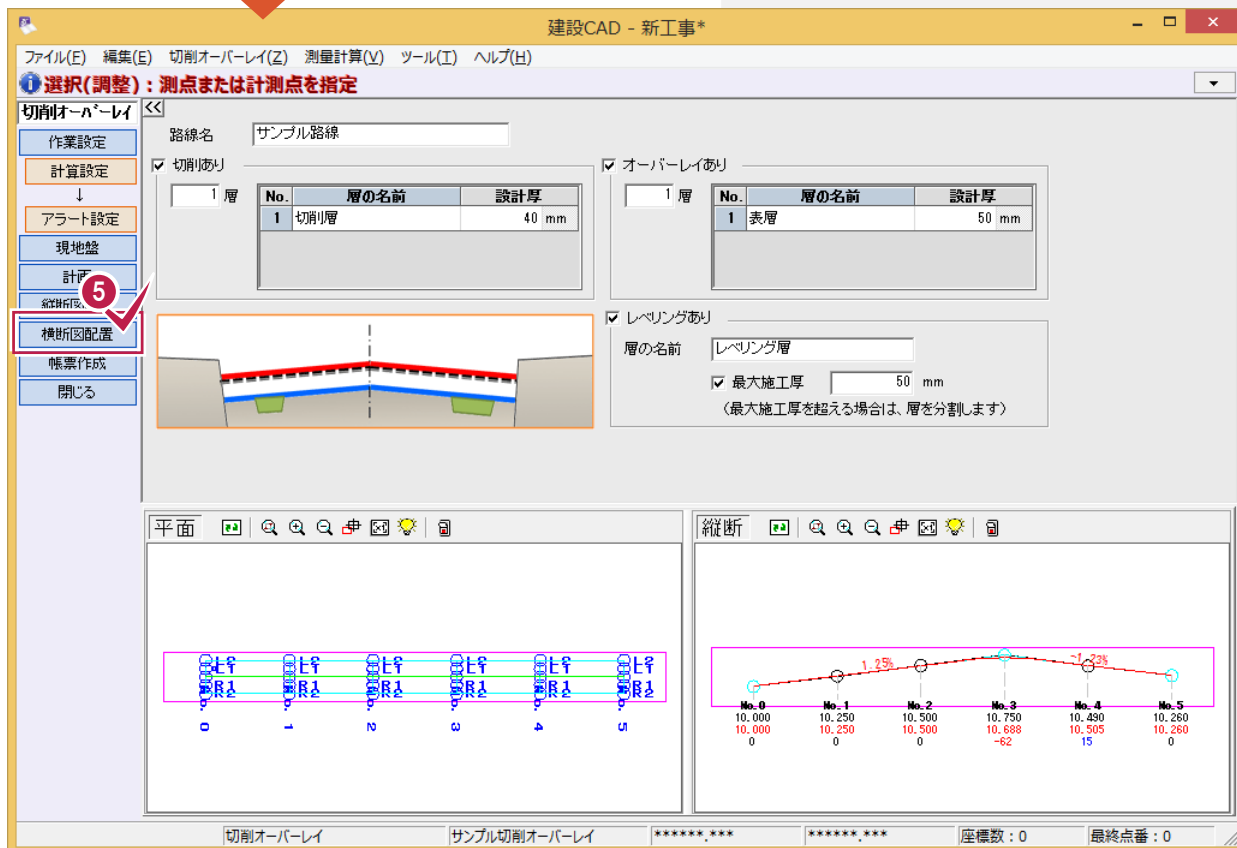
必要に応じて、CAD画面上の編集をおこなってください。また、編集方法の詳細については、ヘルプを参照してください。

5-2 横断面図を作成する

[横断面配置]で作図条件を設定して、横断面図を作成します。

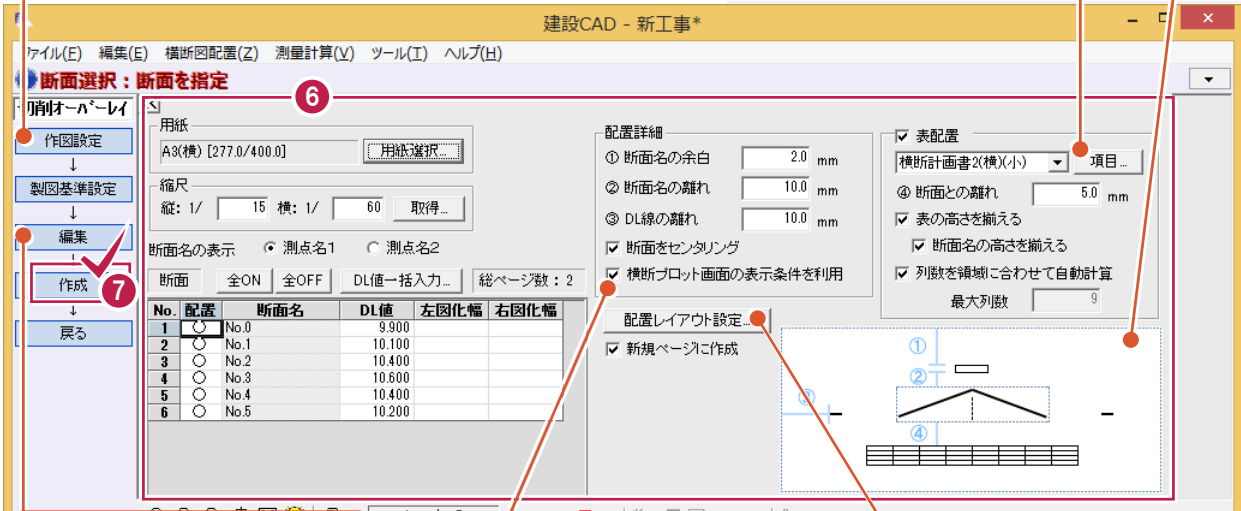


- 1 [測量計算]をクリックします。
- 2 [切削オーバーレイ]をクリックします。
- 3 データを選択します。
- 4 [開く]をクリックします。
- 5 [横断面配置]をクリックします。



[作図設定]ダイアログが表示され、作図ペンNoなどを設定することができます。

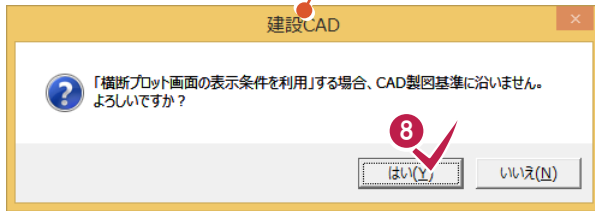
[配置詳細]の①②③、[表配置]の④で配置の詳細を設定します。また、[項目]ボタンで出力する項目を選択できます。



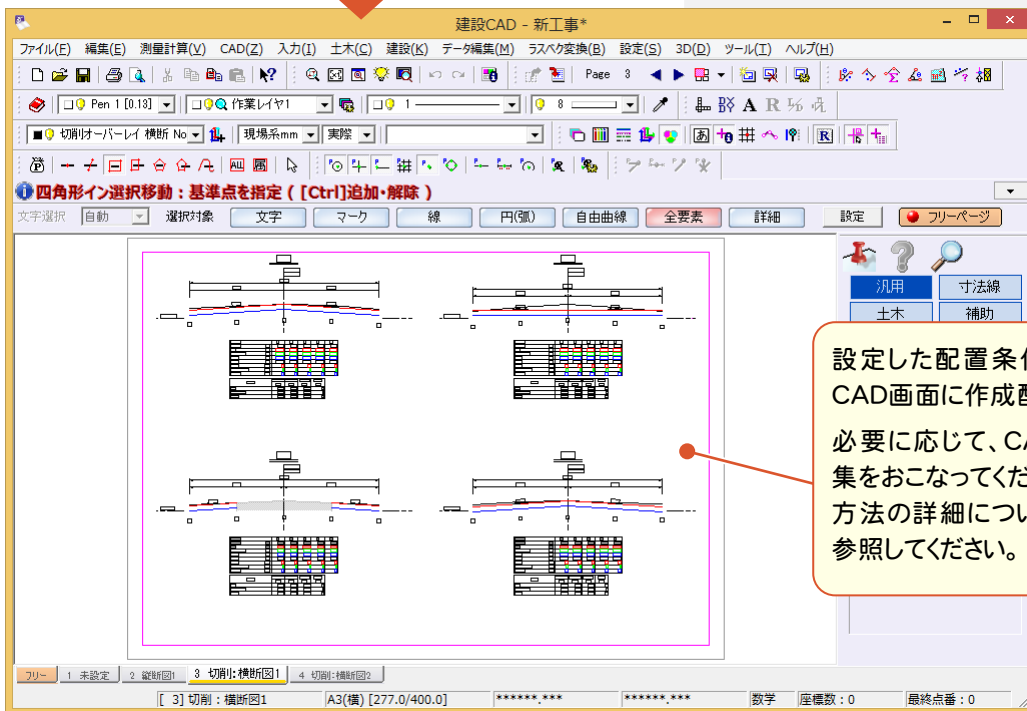
[個別移動]と[断面移動]コマンドが配置されています。
[個別移動]は、断面、表を個別に移動します。一度に複数指定しての移動はできません。
[断面移動]は、断面(表を含む)毎に移動します。一度に複数断面を指定しての移動はできません。

[横断プロット画面の表示条件を利用]のチェックがオンのときは確認のメッセージが表示されます。CAD製図基準に沿った色で作成するときは、チェックをオフにしてください。

CAD画面に配置する前に、作成状態を確認することができます。
用紙等を変更したときにレイアウトがずれた場合は、[配置レイアウト設定]で再配置してください。



- ⑥ 用紙や縮尺など各種作成条件を設定します。
- ⑦ [作成]をクリックします。
- ⑧ [はい]をクリックします。



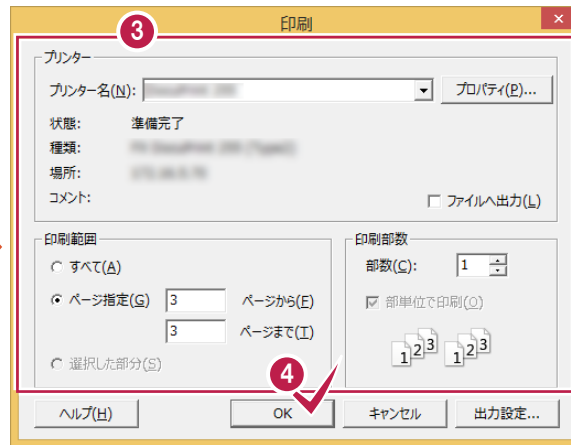
設定した配置条件で、横断面図がCAD画面に作成配置されます。
必要に応じて、CAD画面上の編集をおこなってください。また、編集方法の詳細については、ヘルプを参照してください。

6 図面の印刷

図面を印刷してみましょう。

6-1 図面を印刷する

図面を印刷します。

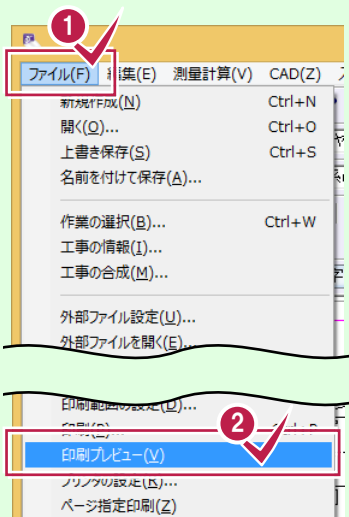


- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [印刷]をクリックします。
- 3 使用するプリンター名、印刷範囲、印刷部数などを設定します。
- 4 [OK]をクリックします。



印刷プレビューで確認する

入力例では、直接[印刷]コマンド処理をおこないましたが、[ファイル]-[印刷プレビュー]コマンドで印刷イメージを確認してから印刷すると、より正確な印刷をおこなうことができます。

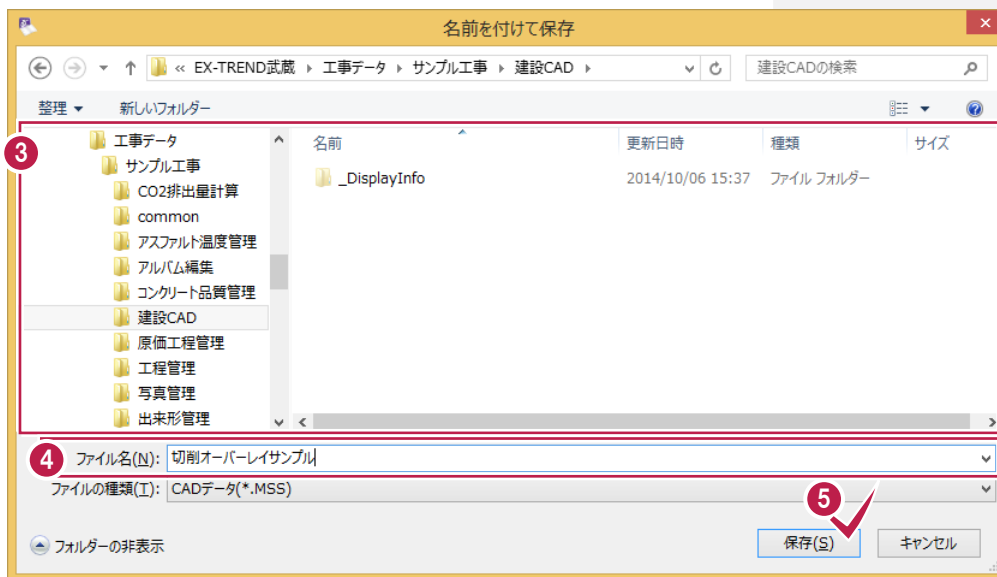
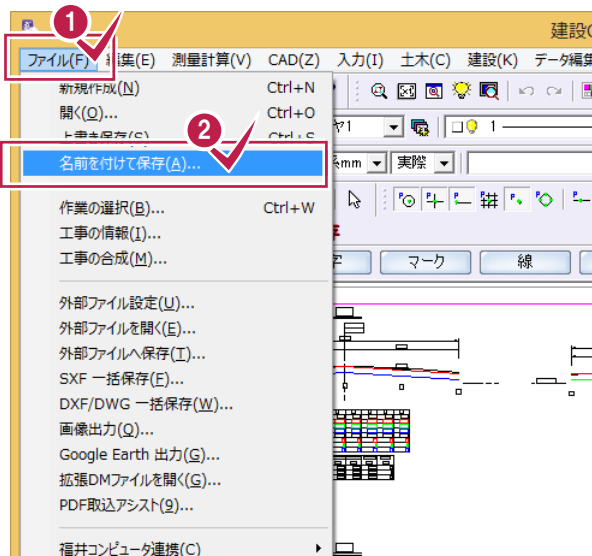


7 データの保存

編集データをEX-TREND武蔵のデータとして保存してみましょう。

7-1 データを保存する

データを保存します。



1 [ファイル]をクリックします。

2 [名前を付けて保存]をクリックします。

3 保存するフォルダー（格納先）を設定します。

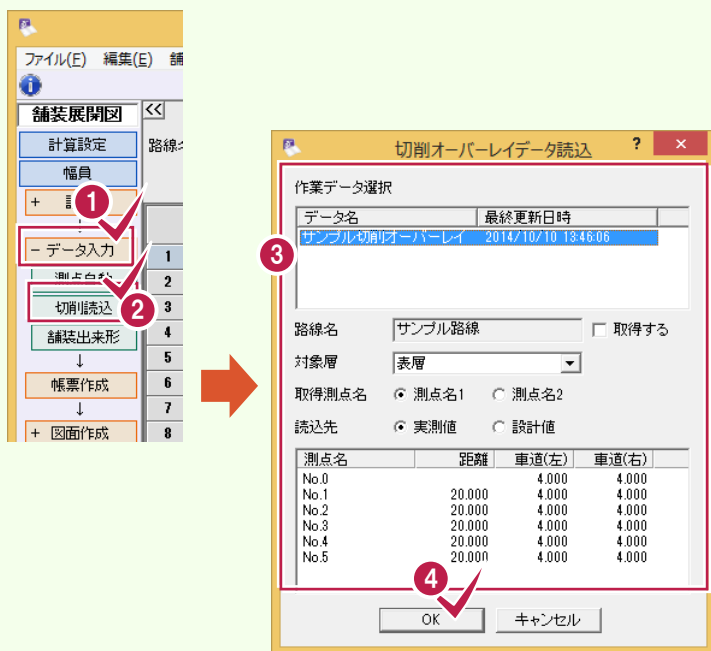
4 ファイル名を入力します。

5 [保存]をクリックします。



舗装展開図で切削オーバーレイのデータを読み込むには

[舗装展開図]で[切削オーバーレイ]のデータを読み込むことができます。



- 1 舗装展開図の[データ入力]をクリックします。
- 2 [切削読込]をクリックします。
- 3 読み込むデータを選択して、対象層、取得測点名、読込先を設定します。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 取り込まれたデータを確認します。
- 6 [控除]をクリックします。
- 7 取り込まれた構造物を確認します。

